

井の頭恩賜公園花便り



ヒガンバナ/ヒガンバナ科 (彼岸花)

中国から渡来した多年草です。お彼岸の頃に花が咲きます。球根に強い毒性があり、モグラなどの害を防ぐためお墓や田んぼの畦道に植えられています。葉と花は同時にはつかず、花が散ると葉が出ます。

シロバナマンジュシャゲ/ヒガンバナ科 (白花曼珠沙華)

ヒガンバナと同じくお彼岸の頃に咲きます。黄色の花のショウキズイセンとヒガンバナの自然交雑種と言われています。花被ははじめ紅色や黄色を帯び、ヒガンバナほどは強く反り返らず縁のしわも少なめです。



※花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所(Tel.0422-47-6900)までお問い合わせください。